

静岡県立大学短期大学部の学生さんに聞いてみました。

静岡県立大学短期大学部のPR

こども学科では、こどもの健やかな育ちを保障するための高度な専門知識と実践力、教養及び豊かな人間性を持ち、「自ら学び続けることのできる」保育者の育成を目指しています。

1学年30名という少人数による、きめ細やかな教育が特徴です。

学生さんより

Q1：アンケートに答えてくれた学生の学部、学年、性別

こども学科、2年、女性

Q2：保育士を目指そうと考えたきっかけは

新聞記事で子どもを預ける場所がないことで働けない人がいることを知り、少しでも貢献したいという思いから保育士に興味を持ちました。

そして、保育について学んでいるなかで、保育者の働きかけによって子どもの可能性が広がると感じたことで、より保育士になりたいという思いが強まりました。



Q3：保育士養成校を受験するのにあたって準備したことは

共通テストに向けて、必須科目の国語と英語、選択科目のうち得意な教科を重点的に勉強しました。

Q4：学校でどんな勉強をしていますか。

計画した保育を保育者役・子ども役に分かれて実践したり、子どもの成長を支えるための知識を学んだりしています。特に私が好きな造形の授業では、実際に自分達が造形活動に取り組んで表現したり、友達とは違う自分らしさや友達の良さを見つけたりするなかで、子どもの発見に共感する力や、子どもの表現を援助するための力を楽しみながら養っています。



Q5：授業や実習の中で苦労したこと、楽しかったことなど

実習では、年齢や一人ひとりに合わせて援助の仕方を工夫している場面を見ることや、声かけ一つ一つに子どもへの思いが込められていると知ることができ、机上では学びきれないことを実際に見て学ぶなかで、保育の専門性の高さを実感しました。

また、子どもの言葉や発見から、普段は見逃してしまっているものに気付いて目をとめたり、粘り強く挑戦していたことができるようになった瞬間の喜びを共有したりでき、保育の魅力を改めて感じました。



Q6：最後に、これから保育士を目指す中高生に向けてメッセージをお願いします。

保育は、子どもたちの成長を支えると同時に、自分自身も成長できる素敵な職業だと思います。保育に興味がある方はその気持ちを大切に、夢に向かって頑張ってください。